

令和5年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす南谷山
鹿児島市小松原2丁目23番30号

電話 099-267-6611

FAX 099-267-7311

メールアドレス minamitaniyama@medicorp.co.jp

令和6年3月28日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（事一①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成6年 2月 22日 (18:00 ~ 19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	2人	4人	4人	13人

前回の改善計画
・新型コロナウイルス感染症の収束後には、主介護者以外の家族とも交流がとれるような機会(イベント開催等)を設けることが出来るよう配慮する。 ・人員配置や日程の調整を行い、担当者会議に職員が参加できる機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果
・新型コロナウイルス感染症の影響が続き、イベント等の開催が出来なかった。 ・人員体制の調整が困難で、担当者会議に職員が参加する機会はほとんど設けることが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	3	1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	3	1	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	6	3	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	4	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・本人やご家族と話し、関係づくりに努めている。 ・利用開始前は、基本情報の回覧やミーティングを行っている。 ・自分からご利用者やご家族へ意識的に声をかけている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・人員不足のため担当者会議への参加機会がなかった。 ・日々の業務に追われ、家族や介護者と話す機会があまりない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・人員体制を整えて、担当者会議に職員は参加する。 ・利用開始前の情報は職員間での共有を徹底する。 ・ご家族と直接会うことが難しい場合も、連絡帳を活用して関係の構築を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成6年 2月 22日 (18:00 ~ 19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	1人	13人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置だけでなく、全職員で業務手順の見直しをすることで、職員が申し送りに参加する機会を増やす。 ・担当職員それぞれが、担当のご利用者の目標や想いを把握するだけでなく、周りの職員への発信力を高めることで、お一人お一人のご利用者の目標や想いを全職員で共有できるよう努める。 	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りに全職員が参加することは困難であったが、申し送りノートを活用した情報共有を行うことができた。 ・担当のご利用者の目標や想いについては各自把握できていたが、全てのご利用者についての把握というものは出来ていなかった。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	3	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	2	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	3	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	3	6	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りノートを活用して職員で情報を共有できるようにしている。 ・ケアカンファを行い、ご利用者一人ひとりの状況を把握している。 ・随時のミーティングで情報共有は出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・随時のミーティングを開く時間があまり取れず、実践した内容の振り返りが不十分。 ・業務を優先しなくてはならない場面が多く、ご利用者とゆっくりとコミュニケーションをとる時間が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りノートや ICT を活用して、情報の共有を図る。 ・業務改善や人員体制を改善し、ご利用者に関わる時間をしっかりと取る。 ・ご利用者それぞれの目標について意識してケアを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 6 年 2 月 22 日 (18:00 ~ 19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	6 人	3 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時のミーティング開催を積極的に行い、日々のご利用者の「変化」に即時的に対応できるようにする。 ・普段のかかわりの中で、ご利用者の目に見える部分だけでなく、「声にならない声」について全職員が意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時のミーティング開催を以前よりは多く開催でき、ご利用者の変化にも対応できた。 ・ご利用者の「声にならない声」は、職員によって気付きの力の差が大きいため、十分に拾えていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	2	7	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11	2	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	5	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1	1	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	3	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人に合わせた基礎的な介護。 ・日々の生活において、体調の変化に対して対策をとり、職員間で情報を共有して支援を行っている。 ・変化に気づき、対応できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が増えたため、以前の暮らし方の 10 個以上覚えきれない。 ・新しいご利用者との信頼関係を築くのに時間がかかり、「以前の暮らし方」について 10 個以上把握できていない方がいる。 ・職員によってばらつきが見られるため、全職員が変化に気付いているわけではない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・臨時のミーティングを積極的に開催する。また、話し合った情報は職員間で共有して日々の支援に即時的に生かす。 ・ご利用者とのかかわりの際は、「以前の暮らし方」にも意識する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成6年 2月 22日 (18:00 ~ 19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	7人	3人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・部内研修等で勉強会を行い、軒下マップを活用できるようにする。 ・新型コロナの状況を見ながらにはなるが、民生委員や町内会の方と連携して、事業所だけでなく地域ともにご利用者を支えられるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会は行うことが出来たが、軒下マップの理解や活用は活発には行われていない。 ・地域の方とは限られた場面でしか関われず、ご利用者を支えるための連携は取れなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	4	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	5	4	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	6	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	5	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・生活スタイルの把握。 ・ケアカンファにて、生活スタイルや人間関係等を把握できている。 ・連絡帳を活用して、ご利用者の日々の様子をご家族へ伝えながら、ご家族にお願いできることはお願いしている。 ・生活のスタイル等、直接ご利用者から聞き取りを行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場での人間関係はわかるものの、地域との関係性の理解についてはあまりできていない。 ・地域の方と会う機会が少なくなってきており、家族以外の近所の方や知人などの把握が出来ていない。 ・軒下マップが作成していない方がいるため、活用が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自事業所だけでご利用者を支えようとするのではなく、地域の方や地域資源を積極的に活用する。 ・軒下マップを活用して、ご利用者の周りにおける地域資源について把握する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成6年 2月 22日 (18:00 ~ 19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	4人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時など、地域の方へも積極的に挨拶をするなどして、顔なじみの関係の構築に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の際も、「通い」「泊り」「訪問」を上手く組み合わせながら支援が切れることないように努める。 ・社会資源とはどういったものがあるか。どう活用すれば、よりご利用者の生活が豊かになるかについて内部研修等で全職員が知る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等、地域の方へも積極的に挨拶をした。関係の構築に関してはまだまだ。 ・その都度状況に応じて、「通い」「泊り」「訪問」を柔軟に組み合わせ、ご利用者の支援にあたる事が出来た。 ・内部研修でライフサポートプランの研修を行ったが、社会資源についての理解は不十分。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	5	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	2	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	2	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変化に気付けるよう、バイタル測定時等にコミュニケーションを図りながら、本人の変化を見逃さないように努めている。 ・ご家族や本人の状況に合わせて、訪問、通い、宿泊を調整した。 ・ご利用者の変化について、多職種間で報告や相談をした。 ・本人の状態に応じたケアが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の把握が不十分で、地域資源を使っての支援が出来ていない。 ・管理者やケアマネ頼りになっているため、地域資源に関して理解不足。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源について研修等を通して職員が知る機会を作る。 ・自事業所だけで完結させるのではなく、社会資源を活用しながら支援を行う。 ・日々のご利用者の変化に気づき、職員間で情報共有を行いながら、状況に合わせた柔軟な支援を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成6年 2月 22日 (18:00 ~ 19:30)

6. 連携・協働

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	5人	5人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">地域の行事や事業所との交流会などには人員の調整等に配慮して積極的に参加する。リモートでの会議等には全職員が参加する機会を持てるように配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">人員体制が整わず、地域の行事や事業所との交流会には決まった職員のみ参加に留まった。会議等への参加も決まった職員のみ参加に留まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	4	3	5	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	5	8	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	0	5	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	7	5	1	13

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ハロウィンの日に近所の放課後デイの子どもが来て、ふれあいの機会があった。町内の掃除や廃品回収、防災訓練に参加できた。

できていない点	200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">機会が少なく、地域との交流会や会議の参加が出来なかった。人員不足から、担当者会議への参加の機会がなかった。新型コロナウイルス感染症の影響がいまだに残っており、登録者以外の高齢者や子供たちが来ることが少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">地域や関係機関との会議へは固定の職員だけでなく、他の職員も参加することができる機会を作る。新型コロナウイルスの影響はあるが、登録者以外の高齢者や子ども達が気軽に訪れることができる環境整備や発信をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 6 年 2 月 22 日 (18:00 ~ 19:30)

7. 運営

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	3 人	13 人

前回の改善計画
・感染症対策に注意しながら、運営推進会議を文書報告ではなく、開催する。 ・町内会の方や民生委員と定期的に連絡を取り、地域とのつながりが切れないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・運営推進会議について、全てではないが対面形式での開催をすることが出来た。 ・町内会の方や民生委員との定期的な連絡は十分に取ることができず、地域とのつながりが希薄となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	6	2	3	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	1	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	3	3	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	6	4	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・事業所やご利用者の事についての意見を言うことはできている。 ・自分では発信していないが、ご利用者からの意見や苦情等は管理者へ伝えている。管理者から地域へは発信していると思う。 ・苦情があればすぐに対応が来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・機会の少なさから、地域と協働した取り組みについては出来ていない。 ・運営推進会議に参加できる機会がなかった。 ・ご利用者とゆっくり話をする時間が取れず、意見や苦情について聞く程のかかわりが持てていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・ご利用者や地域からの意見や苦情があった際は、職員会議等を通して全職員で対応を検討し、事業所運営に反映させる。 ・地域の介護相談どころとして、地域との協働した取り組みに積極的に関わる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 6 年 2 月 22 日 (18:00 ~ 19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	2 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場内研修や職場外研修を積極的に活用して、全職員がスキルアップを目指せるよう配慮する。 ・ ヒヤリ・ハットは積極的に報告書を出し、重大事故を未然に防ぐ。 ・ 地域連絡会等にもリモートを活用して職員の参加に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場内研修は毎月開催することが出来た。 ・ 外部の研修は固定の職員のみ参加に留まった。 ・ 前年度と比べ、ヒヤリ・ハットの積極的な提出が行われた。 ・ 地域連絡会等へは参加が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	7	2	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	4	4	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	5	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	2	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントについては考えながら業務にあたっている。 ・ ヒヤリ・ハットは提出している。 ・ 外部・内部の研修に参加できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 機会がなく、地域連絡会の参加ができていない。 ・ 人員が不足しているため、全職員が研修に参加する機会はない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修に全職員が参加できる機会を作る。 ・ 地域連絡会等については、積極的に情報収集をして参加を図る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成6年 2月 22日 (18:00 ~ 19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上高原、下満、松村、松元、山下、福田、古野、立中、岩重、汐満、畠中、長濱、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックはついつい出てしまうものという印象があるが、「拘束」の一部であるということを全職員が意識する。定期的にスピーチロックはなかったかを職員会議等で話し合う。 ・申し送りの際は、個人名を出さずにイニシャルで報告する等、配慮をする意識を持つ。 ・成年後見制度については職場内研修等を活用して、職員が学ぶ機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックが身体拘束であるという認識は浸透しているが、職員に余裕がなくなると出てしまうという現状がある。 ・申し送りノートを活用しているため、個人名を出すような場面は減少した。 ・成年後見制度についての研修は実施が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	7	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	6	7	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	4	8	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	6	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待については行っていない。 ・身体拘束等に気を付けながら、声かけを行っている。 ・身体拘束や虐待について、研修に参加して理解を深め、日々気を付けている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分に余裕がなくなってしまうと、「ちょっと待って」等のスピーチロックが出てしまう。 ・対象者がいないため、成年後見制度の活用が出来ていない。 ・業務に追われると、言葉の配慮が薄くなってしまう。「スピーチロック」に対して、未だ言葉の使い方が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束についての研修を通して、どういったものがスピーチロックにあたるのか。どういう声かけであれば良いのかを職員全体で検討する。 ・職員同士で気軽に注意し合える職場風土を作る。 ・成年後見制度に関して、研修の機会を作る。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様に「もうひとつの我が家」と思っただけけるよう、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、おひとりおひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。 利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問・宿泊のサービスを適宜組み合わせることで、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としてケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切に、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす南谷山	管理者	上高原 光介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響が大きく改善できなかったことに関して（特に地域との関係等）積極的に改善のための取り組みを行う。 改善できた点に関しては継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響や不安が根強く残り、取り組みの改善については、あまり積極的に動くことが出来なかった部分が多かった。 身体拘束や虐待などについては、職員ひとり一人が気を付けて、余裕がない中でも適切なケアを心掛けていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響は他の事業所では根強く残っている所と気にしていないような所と差が大きいように感じます。 施設としての新型コロナウイルスに関する考えを、ご利用者やご家族へしっかりと説明することが大切だと思います。 介護業界だけでなく、どこも人材不足が問題となっていますが、近くの小規模多機能が頑張ってくれているので、高齢の方が増える未来も心強いです。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスに対して対策を取りつつ、積極的に地域との協働した取り組みを行う。 人員体制の調整不足が原因となって積極的に行えなかった取り組みに関しては、人員体制を整えて、改善のための取り組みを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 看板や張り紙等で、地域の介護相談どころとしての地域からの認知度を高める。 畑や花壇等を利用者だけでなく、地域の方とのかかわりにも活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板や張り紙の設置は出来なかったが、飛び込みでの相談に対応して、相談どころとしての役割を少しは果たすことが出来た。 畑の手入れが不十分で、十分に生かすことが出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般の方からすると施設は高齢のいる方がいる所で、相談に行く場所ではないという先入観があると思います。何の相談をする窓口なのかが分かると、相談しやすくなると思います。 看板を出すというのも手ですが、町内会や民生員とつながる方が良いかと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中の介護に関する相談どころとしての役割を更に高める。外部の方が、気軽に相談をしに来ることができる環境を整備する。 ご利用者だけでなく、外部の方も気持ちよく過ごしてもらえ環境整備に努める。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍も収束が見えてきているため、地域の行事には積極的に参加する。 ・事業所での行事に地域の方が参加できるように積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で、地域との関りがほとんどない中ではあったが、段ボールや古紙回収の協力を継続することが出来た。 ・地域の児童とのふれあいの機会を継続して持つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とのふれあい等に関しては、保護者の同意も必要になるかと思います。 ・地域とのつながりに関しては、コミュニティー協議会と連携を取ると良いと思います。 ・町内会もなり手不足なので、町内会でも役割を担って頑張りたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の清掃活動や廃品回収等には継続して積極的に参加する。 ・町内会やコミュニティー協議会等との連携を通して、世代間の交流が出来る場を目指す。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「軒下マップ」の活用について、スタッフも学習し、地域資源の活用につなげる。 ・担当者会議へスタッフが参加する機会を増やせるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「軒下マップ」の活用は十分にできず、地域資源の活用もなかなかできなかった。 ・人員体制が十分に取れず、担当者会議等への職員の参加はほとんど出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源に関しては、情報の鮮度が大切だと思いますので、継続して情報収集を行わなくてはならないと思います。 ・地域資源と言っても、どういった趣旨で、誰のためのものかが大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自事業所だけで支援を完結させるのではなく、地域の資源を把握して活用する。 ・担当者会議へは固定の職員ではなく、他の職員が参加することができる機会を作る。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は対面形式で行い、地域とのつながりが密となるよう努める。 ・地域と事業所、包括センターで情報共有に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は対面で開催することができたが、職員の参加はほとんど出来なかった。 ・地域包括支援センターからの紹介で利用開始となるご利用者も多く、関係性の構築が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てではないものの、対面での運営推進会議を再開できたことは前進だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議がただの報告会にならないよう、地域と事業所の困りごとなどについて話し合うことができる場とする。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防隊員だけでなく、地域住民も参加した防災訓練を実施する。 ・地域で開催される防災訓練も参加できるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防隊員の同席のもと、避難訓練を実施することができたが、地域住民の参加は出来なかった。 ・地域での防災訓練へは参加できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に非常時の際、事業所の対応を知ってもらうのはもちろんですが、ご利用者の家族へも、いざという時にどう動くのかということや、リスクを知ってもらおうということも大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を行う際は、地域の方やご利用者家族など、広く声をかける。いざという時に、お互いが助け合うことが出来るよう、事業所の考え方や能力について、地域への理解を図る。

